



# 病診連携通信

## 第 39 号

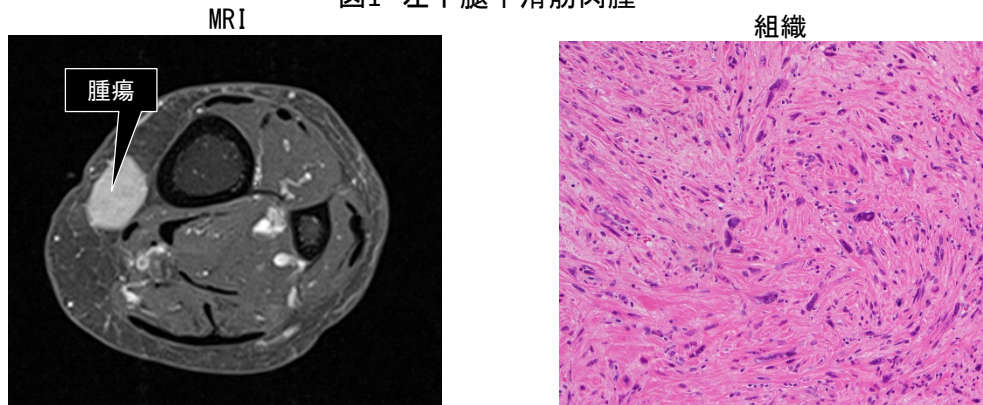
公益財団法人  
湯浅報恩会  
寿泉堂総合病院  
令和3年 10月 吉日

### “しこり”をみたら

日常診療で、“しこり”を訴える患者さんは少なくないと思います。“しこり”には、軟部腫瘍が含まれます。

軟部腫瘍には、転移して生命を奪う悪性腫瘍があります。軟部悪性腫瘍は、すべての悪性腫瘍の約1%と稀ですが、約30種類と種類が多く、あらゆる年代に発生します。そして、悪性であつても痛みを伴うものは多くありません。小さくても悪性であることがあります(図1)。

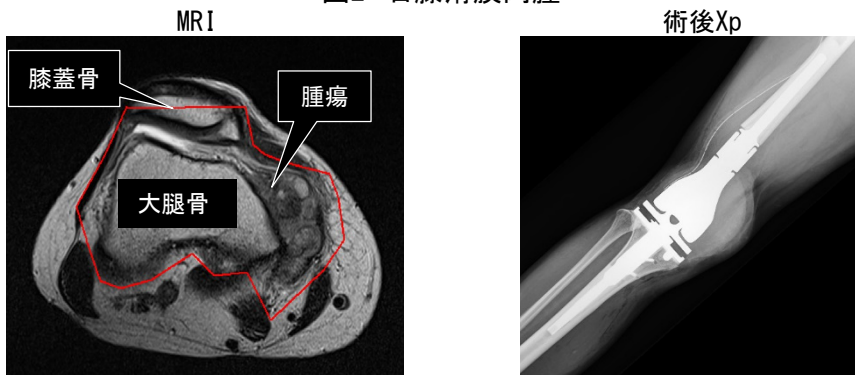
図1 左下腿平滑筋肉腫



腫瘍は、1.5 x 1.7 x 1.2 cm大であつたが、悪性の平滑筋肉腫であつた。

軟部悪性腫瘍を疑う所見は、増大する軟部腫瘍です。診断には、MRIが必須です。腫瘍をむやみに穿刺すると、腫瘍細胞を播種させる危険があります。抗がん剤や放射線治療が効かない腫瘍が多く、治療の第一選択は手術です。手術は、腫瘍細胞を残さないように切除する、広範切除を行わなければなりません(図2)。

図2 右膝滑膜肉腫



腫瘍は膝関節内で大腿骨に接しており、赤線のように膝関節包外切除(腫瘍は正常組織で包み、播種している可能性のある関節内も切除する)を行い、人工膝関節で再建した。

“しこり”をみたら、軟部悪性腫瘍の可能性をお忘れなく。 (整形外科 山田 仁)

寿泉堂総合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂総合病院 地域医療連携室

☎024-927-0760 (直通) または

☎024-932-6363 (代表) にお問い合わせください。